

千葉県における新型コロナウイルス感染症の
感染拡大下の自殺の動向
(平成 27 年から令和 3 年までのデータ)

令和 6 年 3 月

千葉県衛生研究所

目 次

はじめに	1
1 年齢階級別自殺者数	
(1) 増減数	2
(2) 増減率	4
2 月別1日平均自殺者数	
(1) 増減数	6
(2) 増減率	8
3 曜日別自殺者数	
(1) 増減数	10
(2) 増減率	12
4 時間帯別自殺者数	
(1) 増減数	14
(2) 増減率	18
5 原因・動機別自殺者数	
(1) 増減数	22
(2) 増減率	24
6 原因・動機(小分類)別自殺者数	
(1) 増減数	26
(2) 増減率	28
7 職種別自殺者数	
(1) 増減数	30
(2) 増減率	31
8 同居人の有無別自殺者数	
(1) 増減数	32
(2) 増減率	33

はじめに

本報告書では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大下の自殺の動向を分析し、まとめました。

分析に当たっては、千葉県警察本部から情報提供された平成 27 年から令和 3 年までの「自殺統計原票データ」を用いました。

平成 27 年から令和元年の 5 年間を感染拡大前平均として、令和 2 年及び令和 3 年における年齢階級別自殺者数、月別 1 日平均自殺者数、曜日別自殺者数、時間帯別自殺者数、原因・動機別自殺者数、原因・動機（小分類）別自殺者数、職種別自殺者数、同居人の有無別自殺者数それぞれの増減数、増減率を遺体の発見日及び発見地に基づいて算出しました。

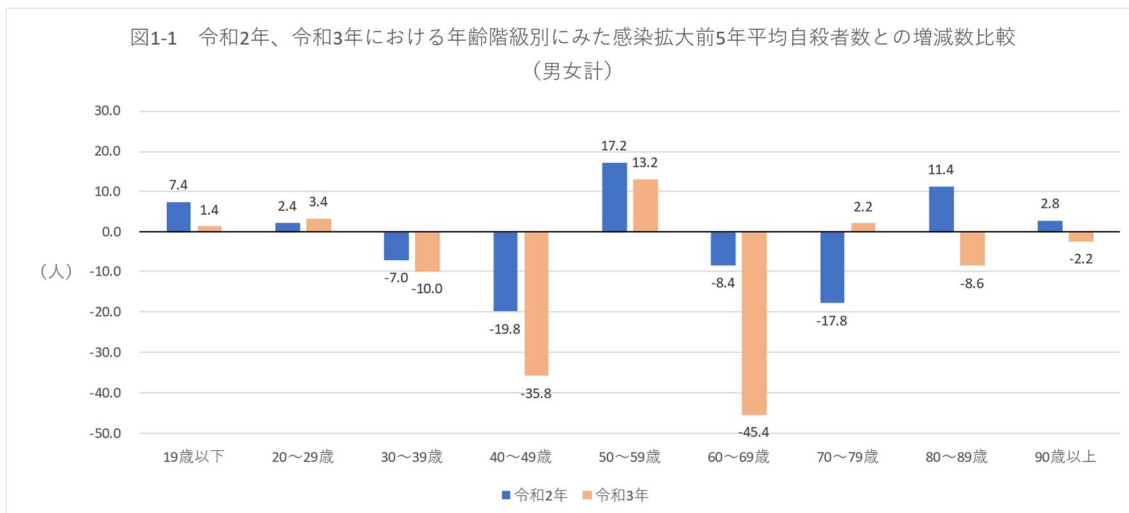
自殺対策に従事されている皆様はもとより、県民の方々にも御覧いただき、自殺対策のために御活用いただければ幸いです。

1 年齢階級別自殺者数

(1) 増減数

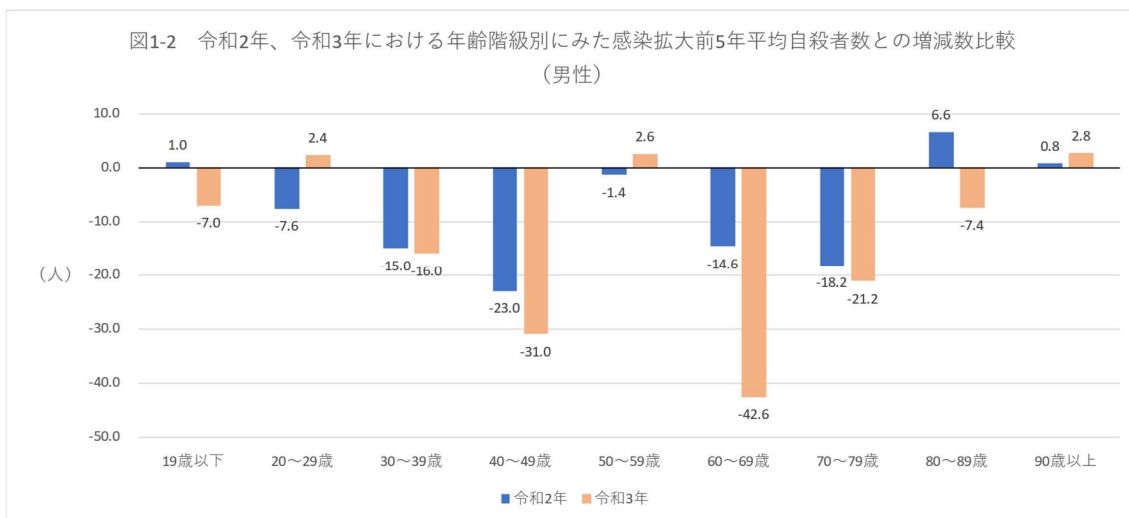
ア 男女計

令和2年は「19歳以下」、「20～29歳」、「50～59歳」、「80～89歳」、「90歳以上」で増加した。令和3年は「19歳以下」、「20～29歳」、「50～59歳」、「70～79歳」で増加した。また、「60～69歳」で最も減少し、次いで「40～49歳」だった。(図1-1)



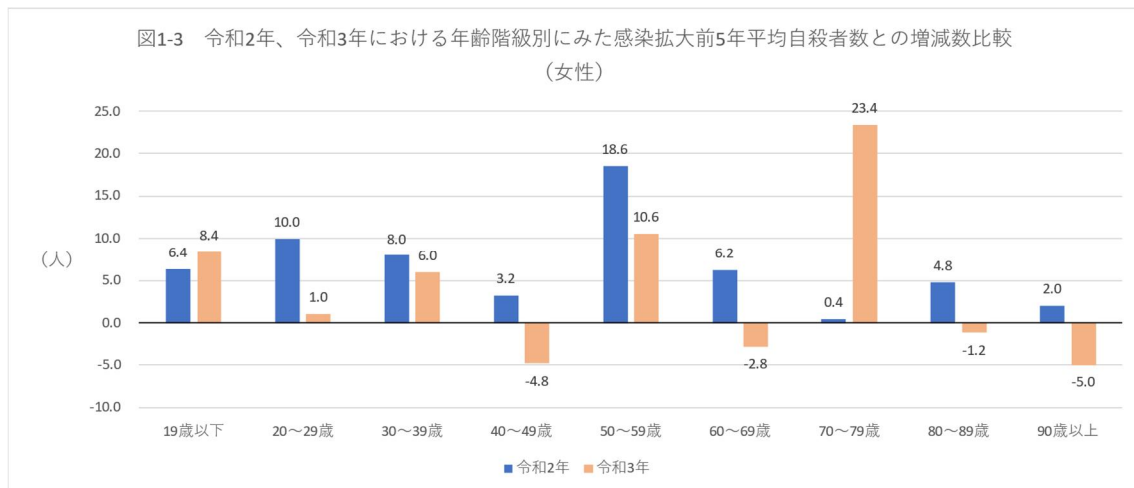
イ 男性

令和2年は「19歳以下」、「80～89歳」、「90歳以上」以外の年齢階級において減少した。特に「40～49歳」が最も減少し、次いで「70～79歳」、「30～39歳」だった。令和3年は「20～29歳」、「50～59歳」、「90歳以上」以外の年齢階級において減少した。特に「60～69歳」が最も減少し、次いで「40～49歳」、「70～79歳」だった。(図1-2)



ウ 女性

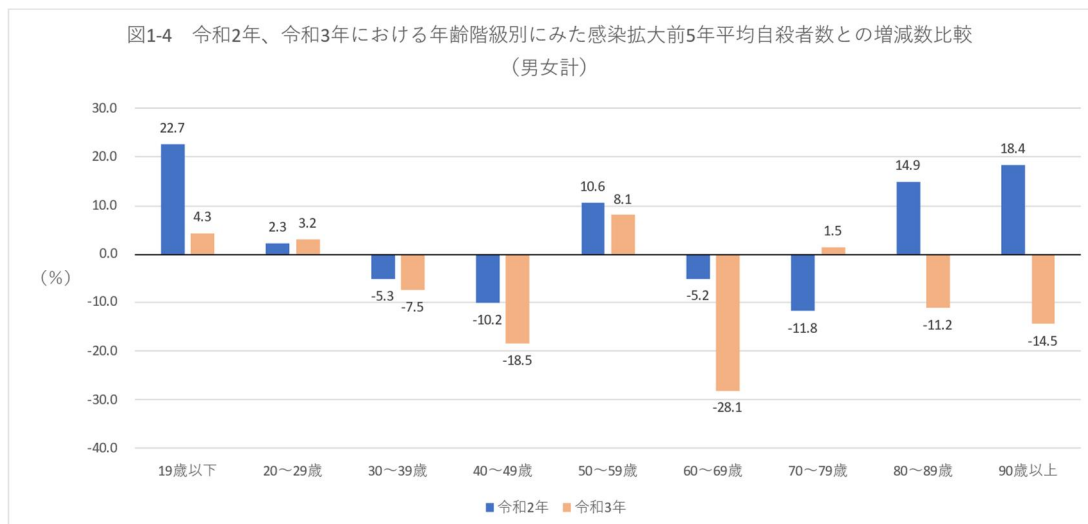
令和2年はすべての年齢階級において増加した。特に「50～59歳」が最も増加し、次いで「20～29歳」、「30～39歳」だった。令和3年は「19歳以下」、「20～29歳」、「30～39歳」、「50～59歳」、「70～79歳」で増加した。特に「70～79歳」で増加し、次いで「50～59歳」、「19歳以下」だった。(図1-3)



(2) 増減率

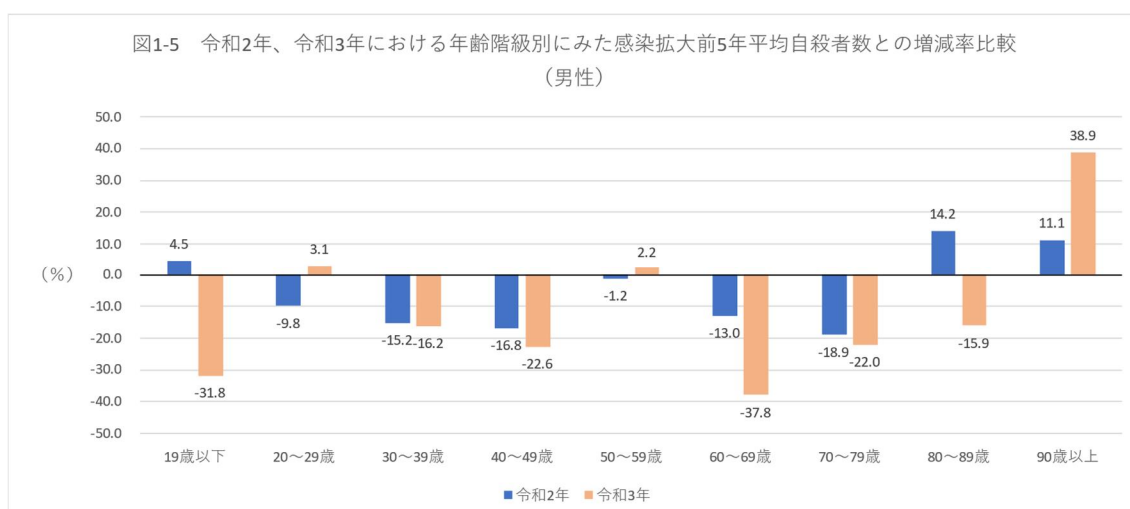
ア 男女計

令和2年は「19歳以下」、「20～29歳」、「50～59歳」、「80～89歳」、「90歳以上」で上昇した。令和3年は「19歳以下」、「20～29歳」、「50～59歳」、「70～79歳」で上昇した。(図1-4)



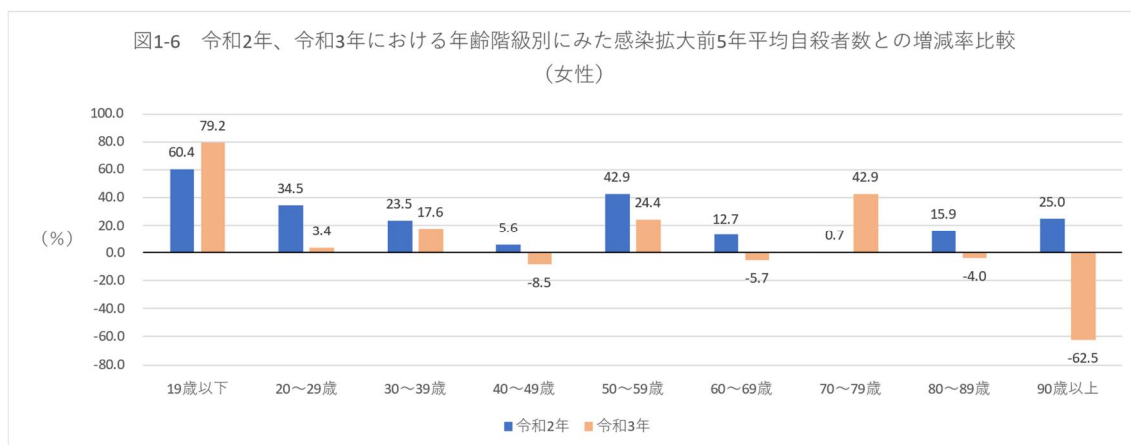
イ 男性

令和2年は「19歳以下」、「80～89歳」、「90歳以上」以外の年齢階級で下降した。令和3年は「20～29歳」、「50～59歳」、「90歳以上」以外の年齢階級で下降した。特に「60～69歳」で最も下降し、次いで「19歳以下」、「40～49歳」だった。また、「90歳以上」がかなり上昇した。(図1-5)



ウ 女性

令和2年はすべての年齢階級で上昇した。特に「19歳以下」が最も上昇し、次いで「50～59歳」、「20～29歳」だった。令和3年は「19歳以下」、「20～29歳」、「30～39歳」、「50～59歳」、「70～79歳」で上昇した。特に「19歳以下」が最も上昇し、次いで「70～79歳」、「50～59歳」だった。また、「90歳以上」がかなり下降した。(図1-6)

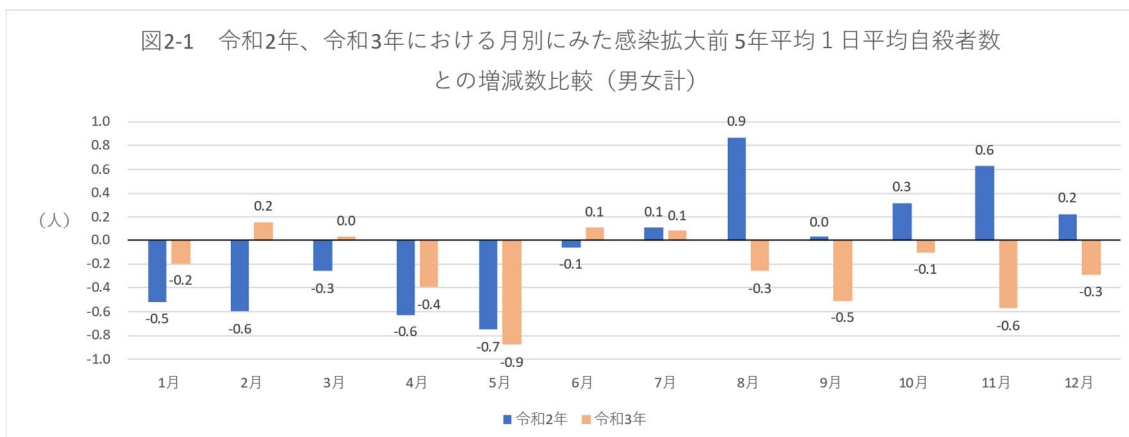


2 月別1日平均自殺者数

(1) 増減数

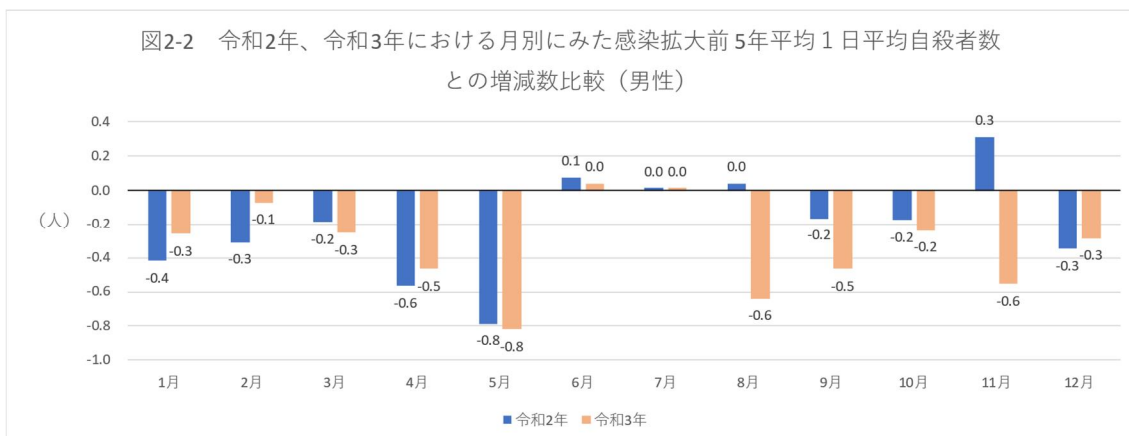
ア 男女計

令和2年は「7月」、「8月」、「10月」、「11月」、「12月」で増加した。特に「8月」が最も増加し、次いで「11月」、「10月」だった。令和3年は「2月」、「6月」、「7月」で増加した。(図2-1)



イ 男性

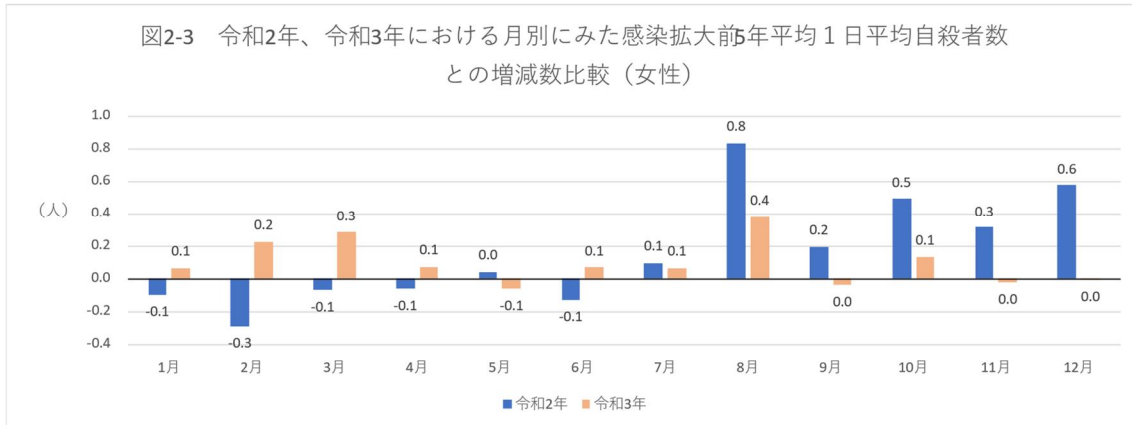
令和2年は「6月」、「11月」で増加した。令和3年は「6月」、「7月」を除いてすべての月で減少した。(図2-2)



ウ 女性

令和2年は「7月」、「8月」、「9月」、「10月」、「11月」、「12月」で増加した。特に「8月」が最も増加し、次いで「12月」、「10月」だった。令和3年は「1月」、「2月」、「3月」、「4月」、「6月」、「7月」、「8月」、「10月」で増加した。特に「8月」が最も増加し、次いで「3月」、「2月」だった。

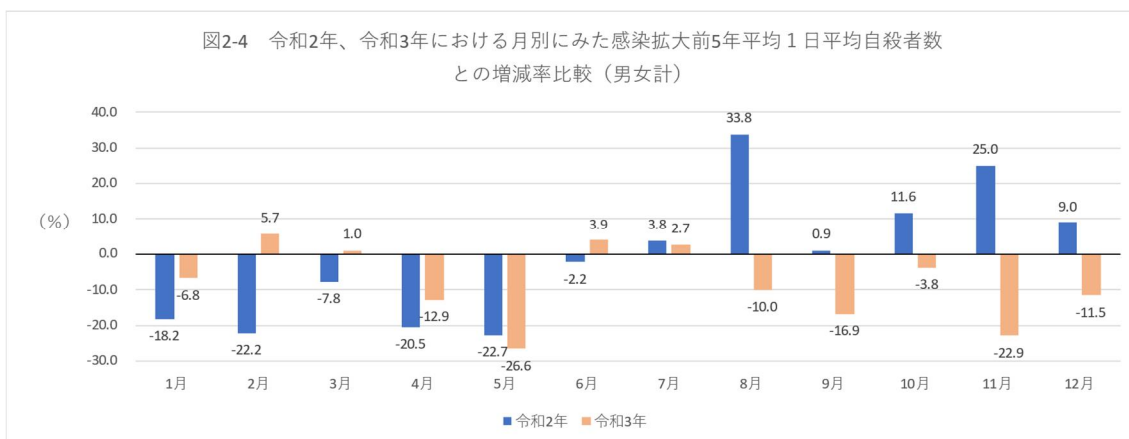
(図2-3)



(2) 増減率

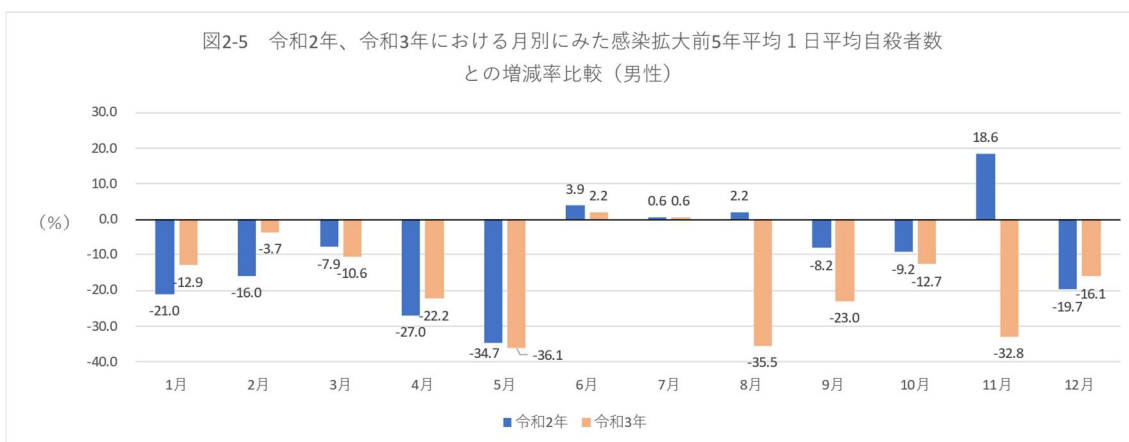
ア 男女計

令和2年は「7月」、「8月」、「9月」、「10月」、「11月」、「12月」で上昇した。特に「8月」が最も上昇し、次いで「11月」、「10月」だった。令和3年は「2月」、「3月」、「6月」、「7月」で上昇した。(図2-4)



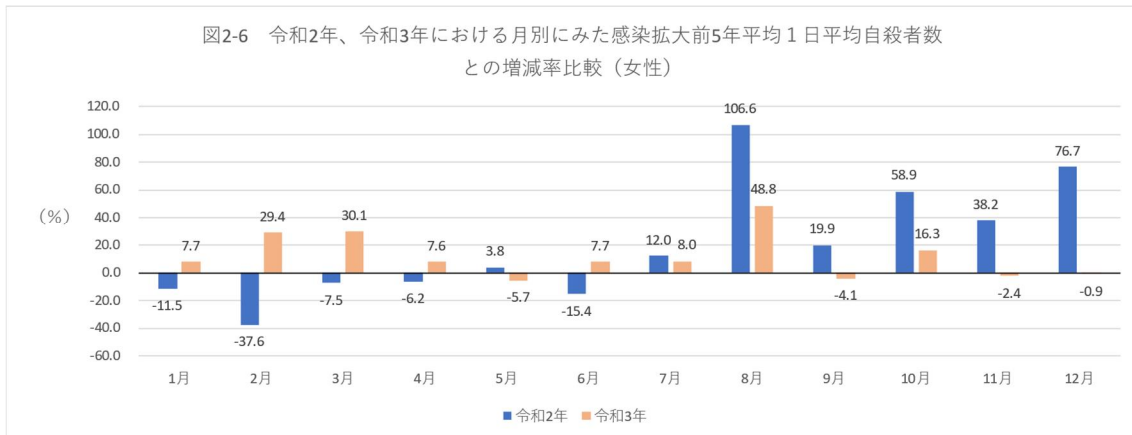
イ 男性

令和2年は「6月」、「7月」、「8月」、「11月」で上昇した。特に「11月」に上昇した。令和3年は「6月」、「7月」で上昇した。(図2-5)



ウ 女性

令和2年は「5月」、「7月」、「8月」、「9月」、「10月」、「11月」、「12月」で上昇した。特に「8月」に最も上昇し、次いで「12月」、「10月」だった。令和3年は「1月」、「2月」、「3月」、「4月」、「6月」、「7月」、「8月」、「10月」に上昇した。特に「8月」に最も上昇し、次いで「3月」、「2月」だった。
(図2-6)

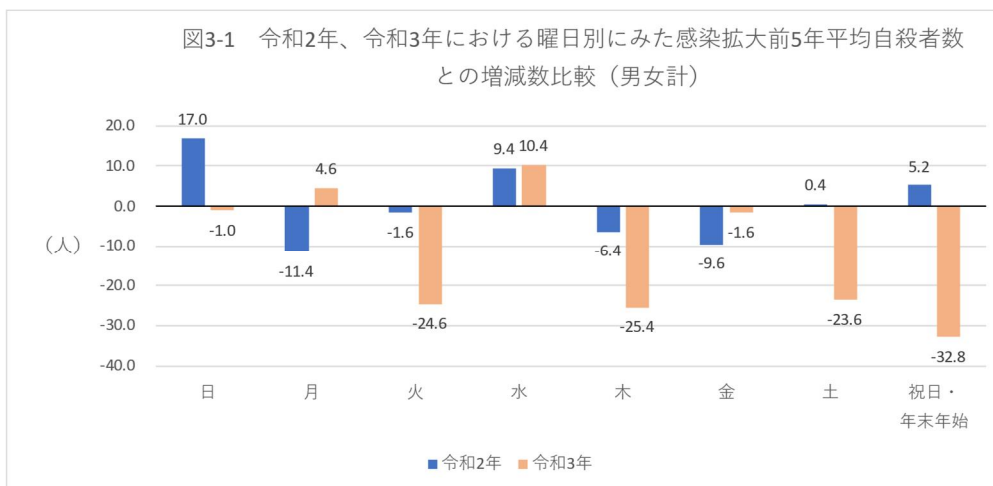


3 曜日別自殺者数

(1) 増減数

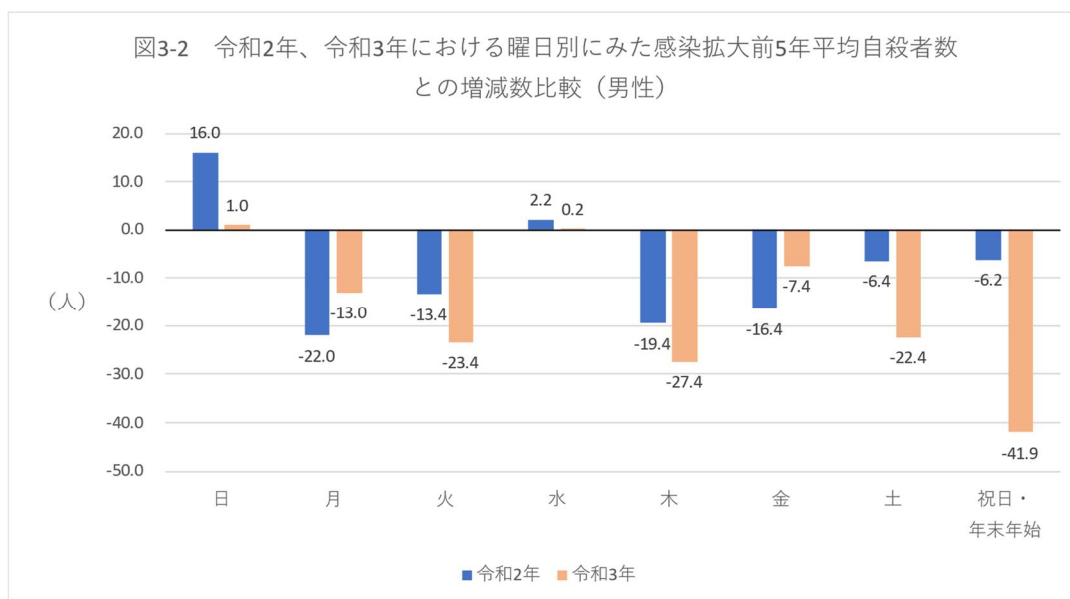
ア 男女計

令和2年は「日曜日」、「水曜日」、「土曜日」、「祝日・年末年始」で増加した。特に「日曜日」に最も増加し、次いで「水曜日」、「祝日・年末年始」だった。令和3年は「月曜日」、「水曜日」で増加した。(図3-1)



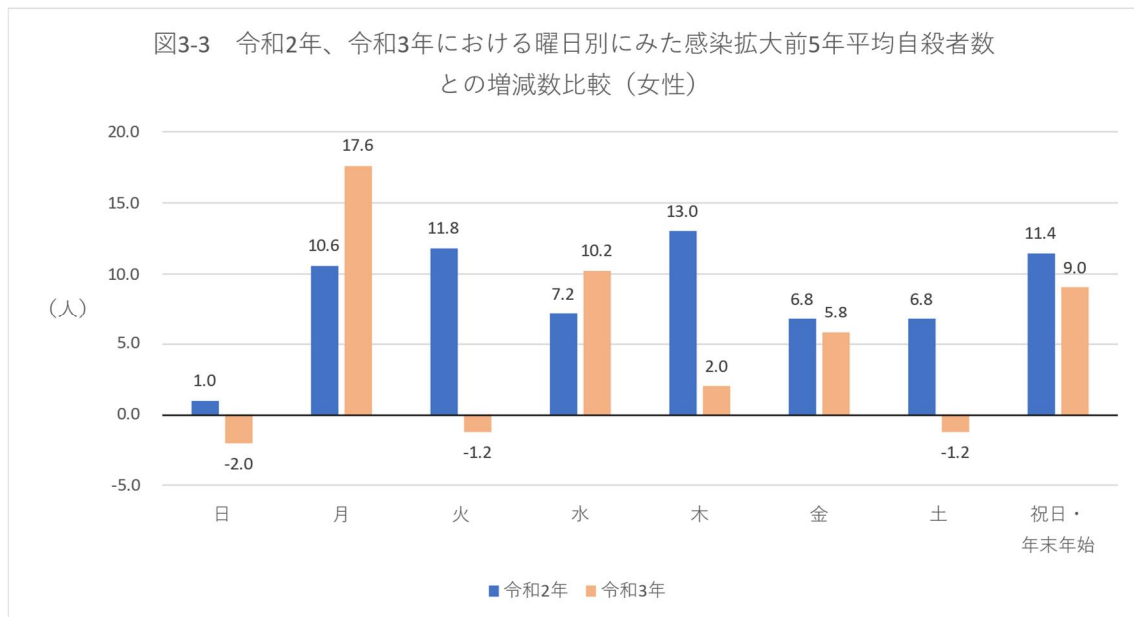
イ 男性

令和2年は「日曜日」、「水曜日」以外で減少した。特に「月曜日」で最も減少し、次いで「木曜日」、「金曜日」だった。令和3年は「日曜日」、「水曜日」を除いてすべての曜日で減少した。特に「祝日・年末年始」が最も減少し、次いで「木曜日」、「火曜日」だった。(図3-2)



ウ 女性

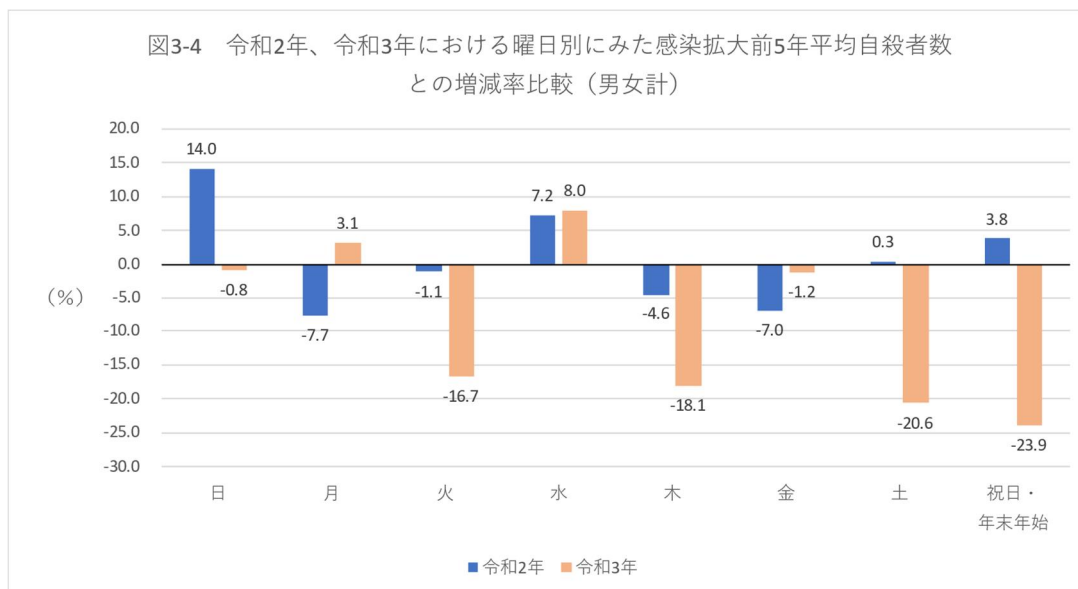
令和2年はすべての曜日で増加した。特に「木曜日」が最も増加し、次いで「火曜日」、「祝日・年末年始」だった。令和3年は「月曜日」、「水曜日」、「木曜日」、「金曜日」、「祝日・年末年始」で増加した。特に「月曜日」が最も増加し、次いで「水曜日」、「祝日・年末年始」だった。(図3-3)



(2) 増減率

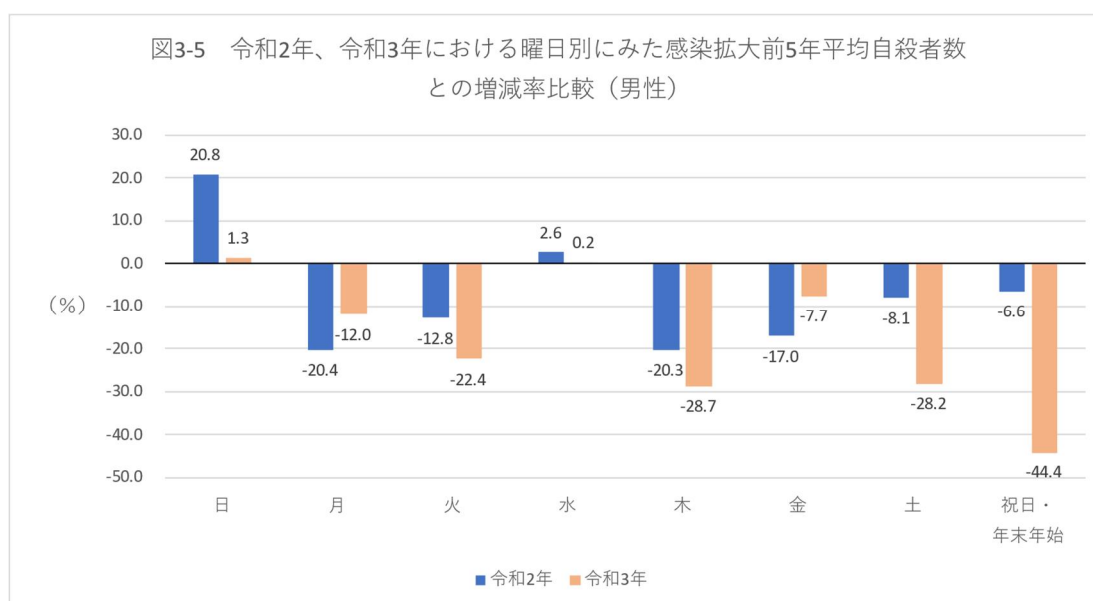
ア 男女計

令和2年は「日曜日」、「水曜日」、「土曜日」、「祝日・年末年始」で上昇した。特に「日曜日」に最も上昇し、次いで「水曜日」、「祝日・年末年始」だった。令和3年は「月曜日」、「水曜日」以外で下降した。特に「祝日・年末年始」で最も下降し、次いで「土曜日」、「木曜日」だった。(図3-4)



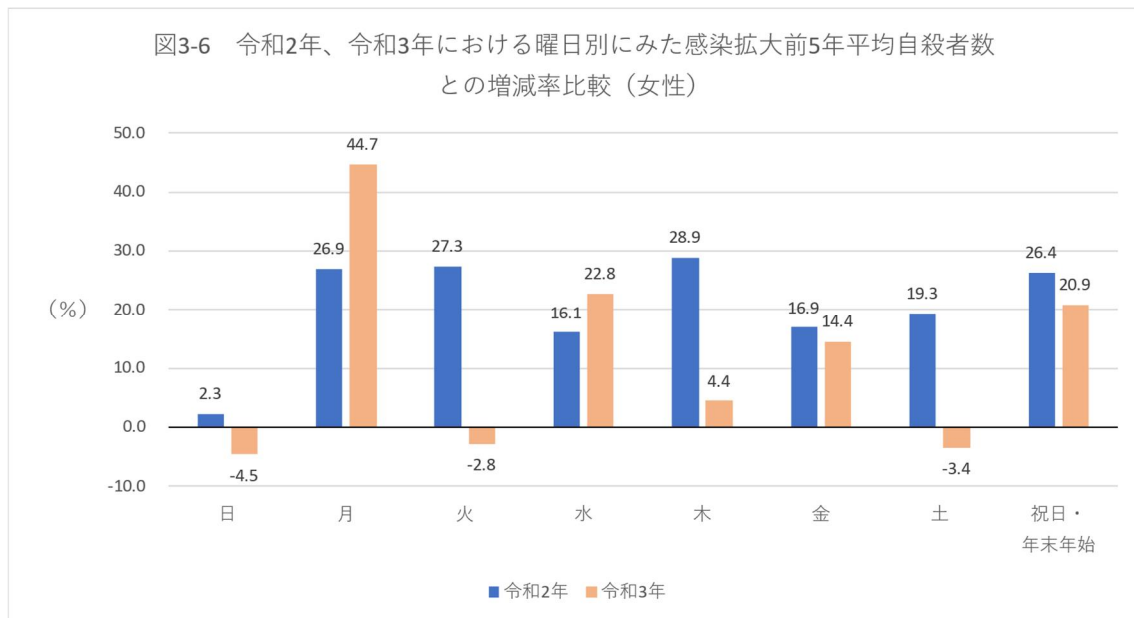
イ 男性

令和2年は「日曜日」、「水曜日」以外はすべて下降した。令和3年も令和2年と同様だった。(図3-5)



ウ 女性

令和2年はすべての曜日で上昇した。令和3年は「日曜日」、「火曜日」、「土曜日」以外の曜日は上昇し、特に「月曜日」が最も上昇し、次いで「水曜日」、「祝日・年未年始」だった。(図3-6)



4 時間帯別自殺者数

(1) 増減数

ア 男女計

令和2年は「1時」、「2時」、「3時」、「7時」、「8時」、「9時」、「10時」、「12時」、「13時」、「15時」、「16時」、「17時」、「18時」、「19時」、「23時」で増加した。特に「12時」に最も増加し、次いで「9時」、「8時」だった。令和3年は「3時」、「4時」、「6時」、「7時」、「9時」、「14時」、「16時」、「18時」だった。特に「18時」に最も増加し、次いで「3時」、「9時」だった。(図4-1)

イ 男性

令和2年は「3時」、「8時」、「9時」、「10時」、「12時」、「15時」、「17時」で増加した。特に「8時」で最も増加し、次いで「12時」、「15時」だった。令和3年は「3時」、「6時」、「9時」、「18時」で増加した。特に「6時」で最も増加した。(図4-2)

ウ 女性

令和2年は「0時」、「6時」、「8時」、「14時」、「15時」、「21時」、「22時」以外の時間帯が増加した。特に「1時」が最も増加し、次いで「18時」、「9時」だった。令和3年は「0時」、「1時」、「2時」、「5時」、「6時」、「11時」、「15時」、「22時」、「23時」以外の時間帯が増加した。「特に「18時」が最も増加し、次いで「16時」、「3時」だった。(図4-3)

図4-1 令和2年、令和3年における時間帯別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減数比較（男女合計）

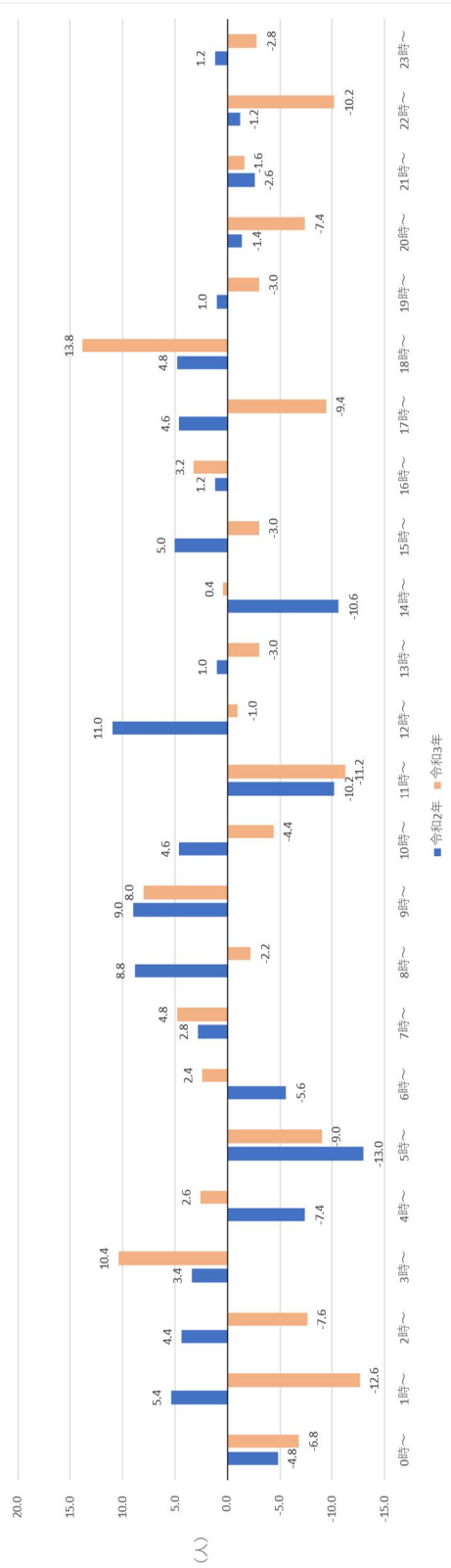


図4-2 令和2年、令和3年における時間帯別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減数比較（男性）

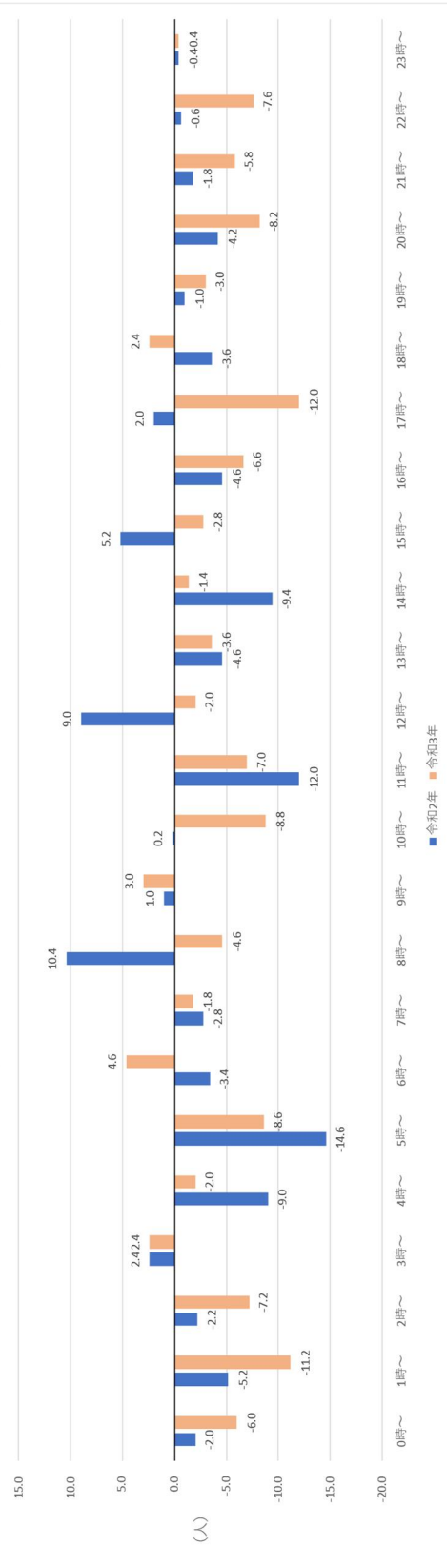
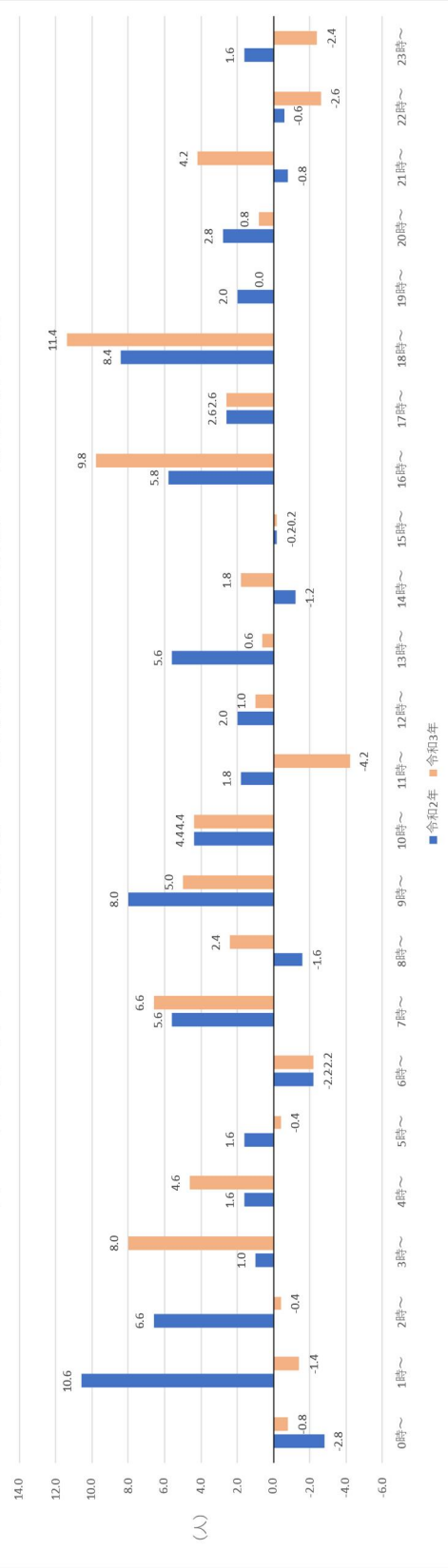


図4-3 令和2年、令和3年における時間帯別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減数比較（女性）



(2) 増減率

ア 男女計

令和2年は「1時」、「2時」、「3時」、「7時」、「8時」、「9時」、10時、「12時」、「13時」、「15時」、「16時」、「17時」、「18時」、「19時」、「23時」で上昇した。特に「9時」で最も上昇し、次いで「8時」、「12時」だった。令和3年は「3時」、「4時」、「6時」、「7時」、「9時」、「14時」、「16時」、「18時」だった。特に「18時」に最も上昇し、次いで「3時」、「9時」だった。(図4-4)

イ 男性

令和2年は「3時」、「8時」、「9時」、「10時」、「12時」、「15時」、「17時」で上昇した。特に「8時」で最も上昇し、次いで「12時」、「15時」だった。令和3年は「3時」、「6時」、「9時」、「18時」で上昇した。特に「9時」で最も上昇し、次いで「6時」、「3時」だった。(図4-5)

ウ 女性

令和2年は「0時」、「6時」、「8時」、「14時」、「15時」、「21時」、「22時」以外の時間帯が上昇した。特に「1時」が最も上昇し、次いで「18時」、「9時」だった。令和3年は「0時」、「1時」、「2時」、「5時」、「6時」、「11時」、「15時」、「19時」、「22時」、「23時」以外の時間帯が上昇した。「特に「18時」が最も上昇し、次いで「3時」、「16時」だった。(図4-6)

図4-4 令和2年、令和3年における時間帯別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減率比較（男女計）

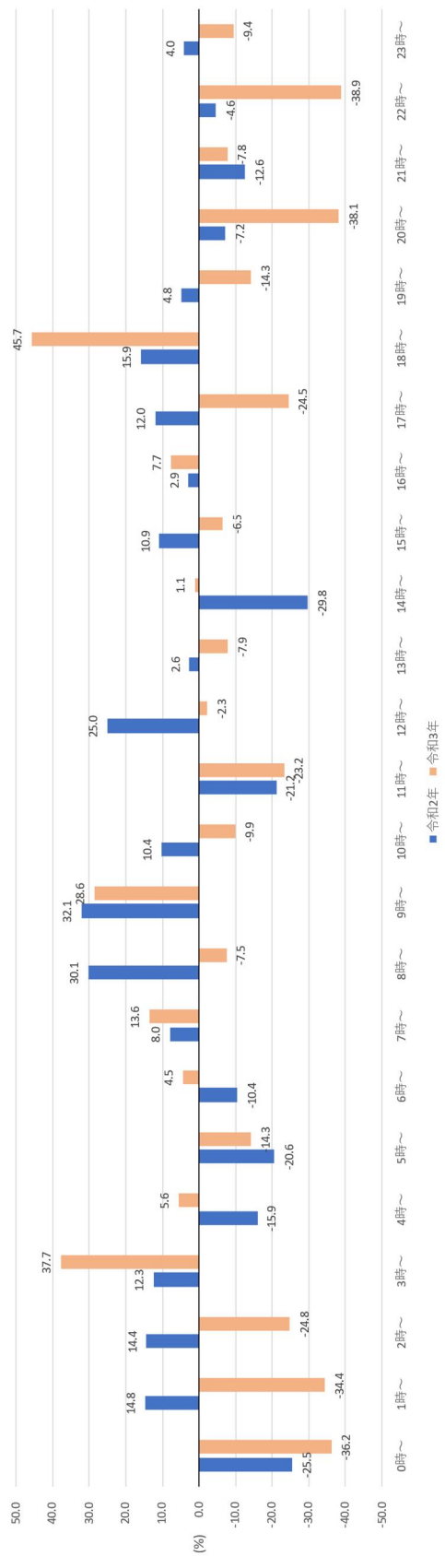


図4-5 令和2年、令和3年における時間帯別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減率比較（男性）

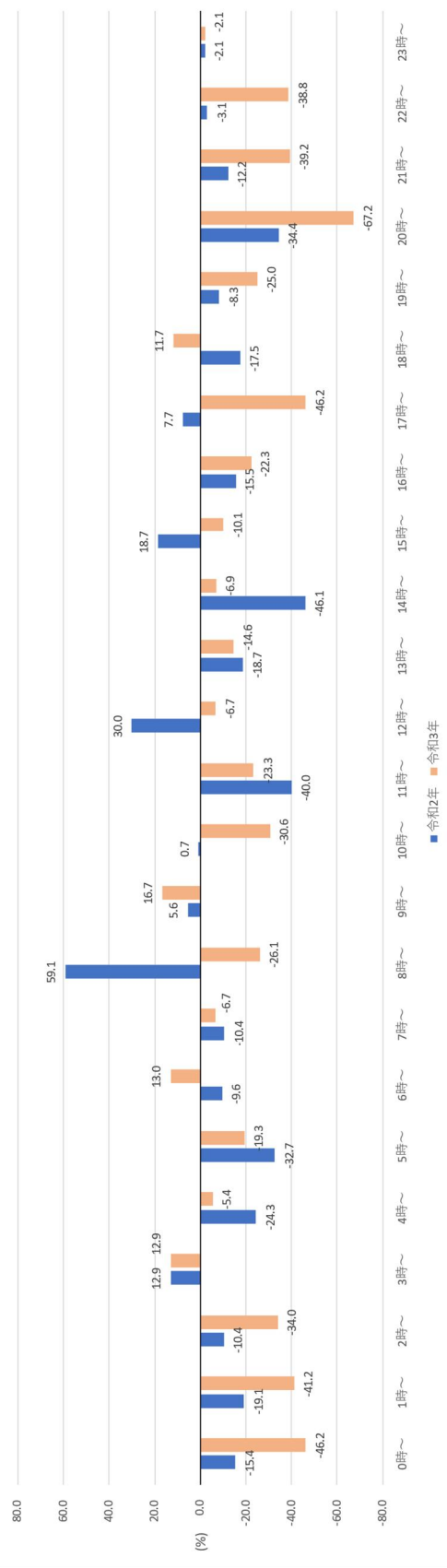
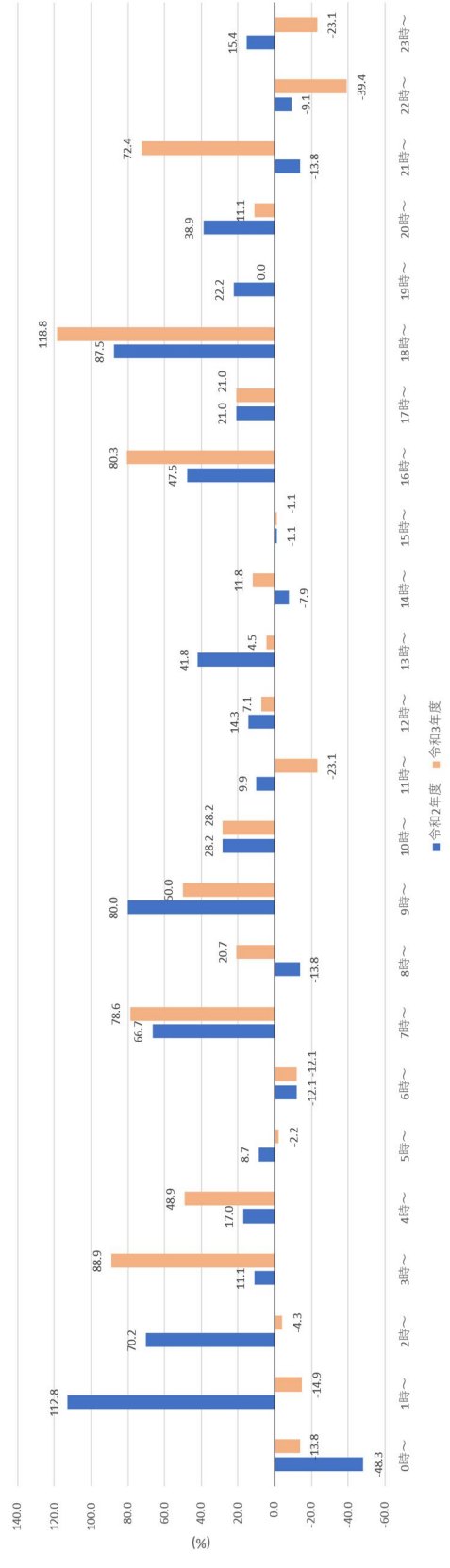


図4-6 令和2年、令和3年における時間帯別に見た感染拡大前5年平均自殺者数との増減率比較（女性）

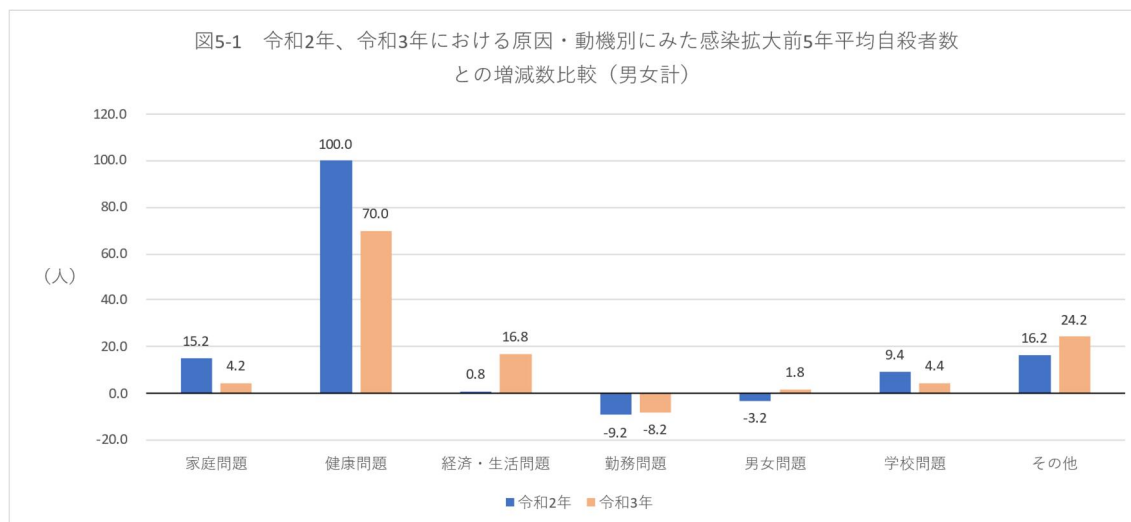


5 原因・動機別自殺者数

(1) 増減数

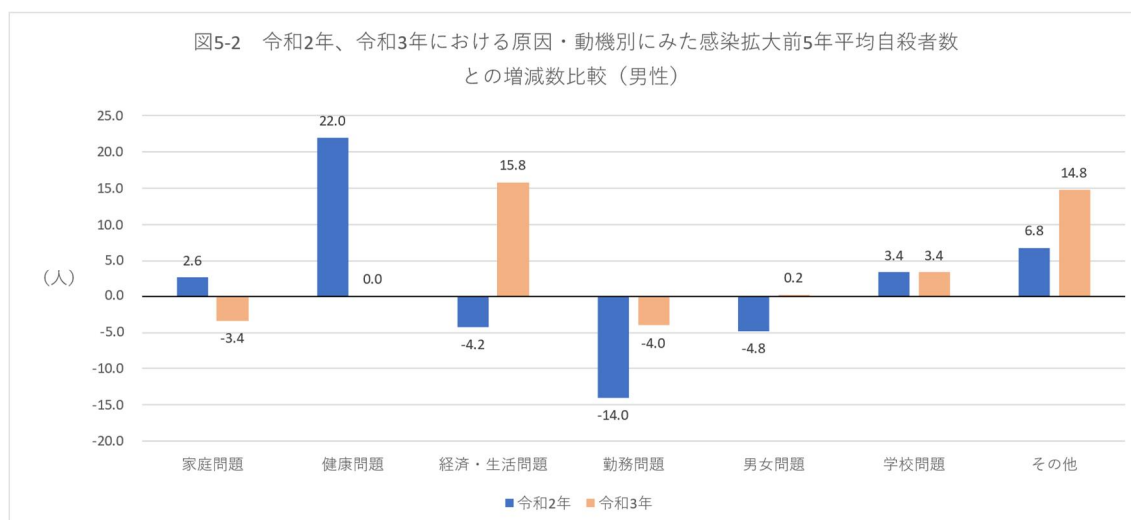
ア 男女計

令和2年及び令和3年は「健康問題」が最も多く増加した。(図5-1)



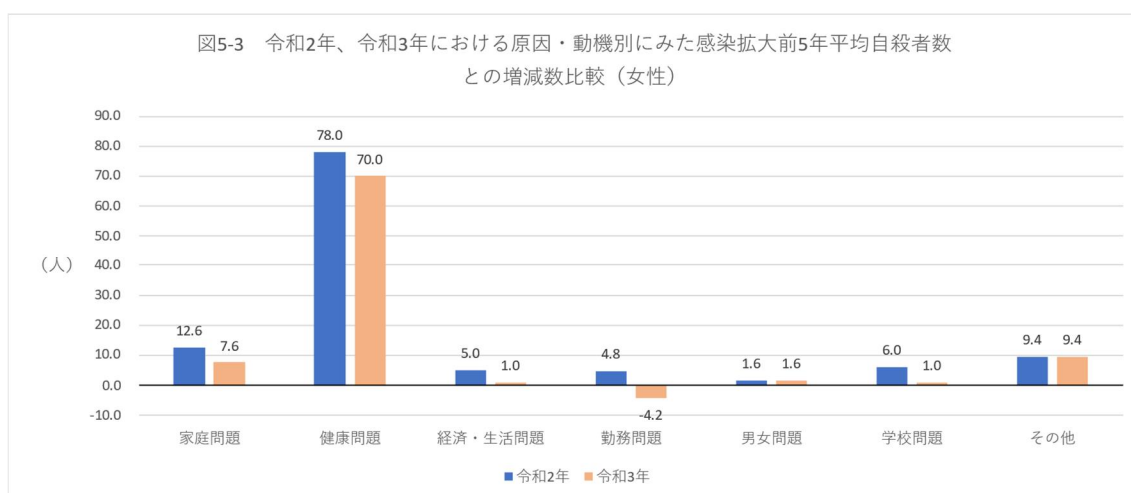
イ 男性

令和2年は「健康問題」が最も増加し、次いで「その他」、「家庭問題」だった。また、「勤務問題」が最も減少した。令和3年は「経済・生活問題」が最も多く増加し、次いで「その他」、「学校問題」だった。(図5-2)



ウ 女性

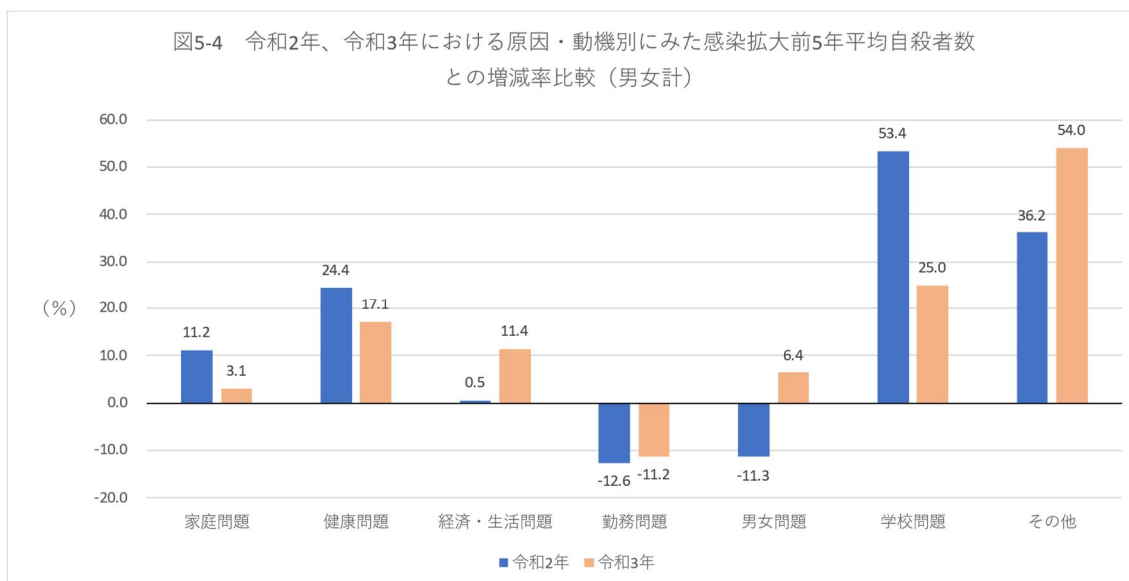
令和2年はすべての原因・動機で増加が見られ、「健康問題」が最も多く増加した。令和3年は「勤務問題」以外で増加が見られ、「健康問題」が最も多く増加した。(図5-3)



(2) 増減率

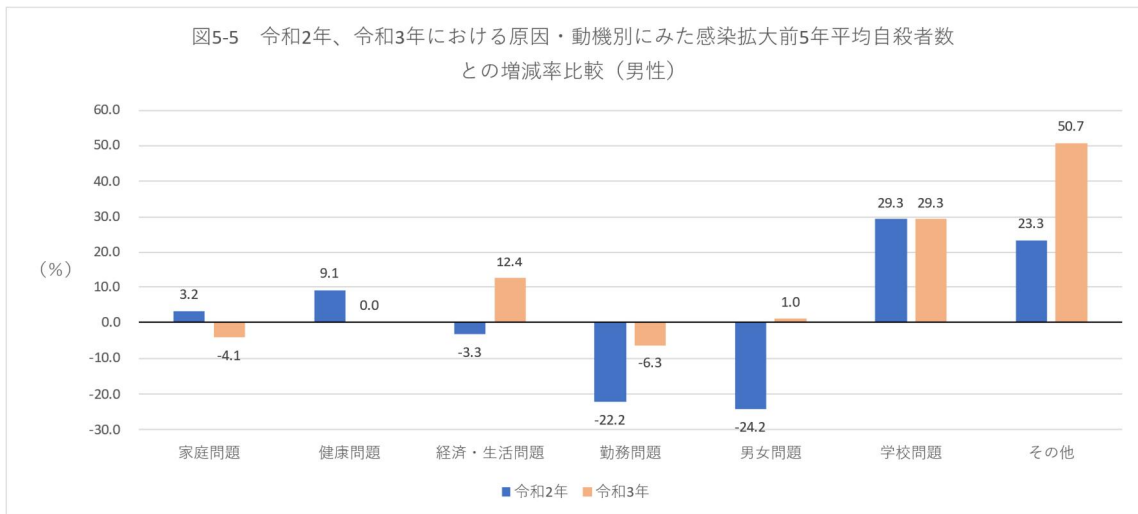
ア 男女計

令和2年は「学校問題」が最も上昇し、次いで「その他」、「健康問題」だった。令和3年は「その他」が最も多く上昇し、次いで「学校問題」、「健康問題」だった。(図5-4)



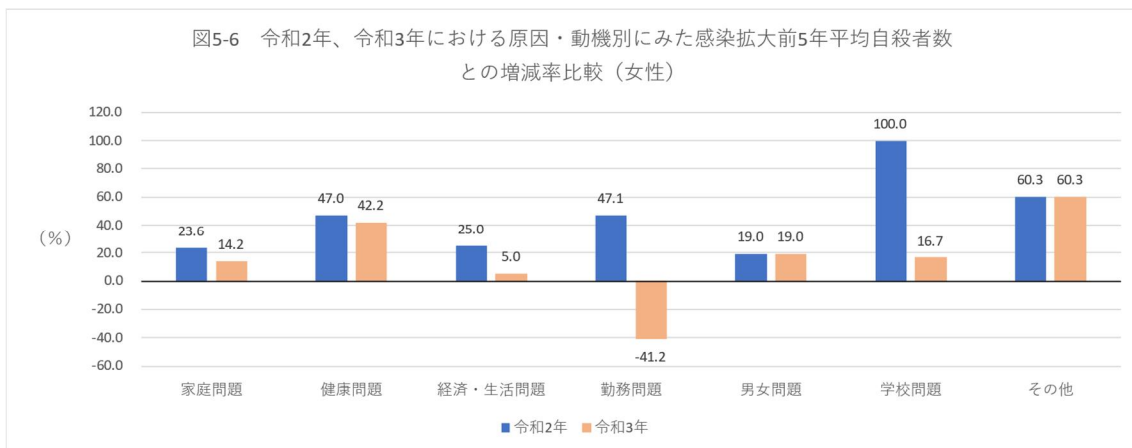
イ 男性

令和2年は「学校問題」が最も上昇し、次いで「その他」だった。また、「男女問題」、「勤務問題」、「経済・生活問題」で減少した。令和3年は「その他」が最も上昇し、次いで「学校問題」、「経済・生活問題」だった。(図5-5)



ウ 女性

令和2年はすべての原因・動機で上昇がみられ、「学校問題」が最も多く上昇し、次いで「その他」、「勤務問題」だった。令和3年は「勤務問題」以外の原因・動機で上昇がみられ、「その他」が最も多く上昇し、次いで「健康問題」、「男女問題」だった。（図5-6）



6 原因・動機（小分類）別自殺者数

(1) 増減数

ア 男女計

令和2年は「病気の悩み・影響（うつ病）」が最も増加し、次いで「病気の悩み（身体の病気）」、「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」だった。令和3年は「病気の悩み・影響（うつ病）」が最も増加し、次いで「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」、「生活苦」だった。（表1）

イ 男性

令和2年は「病気の悩み（身体の病気）」が最も増加し、次いで「負債（多重債務）」、「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」だった。令和3年は「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」が最も増加し、次いで「生活苦」、「孤独感」だった。（表1）

ウ 女性

令和2年は「病気の悩み・影響（うつ病）」が最も増加し、次いで「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」、「病気の悩み（身体の病気）」だった。令和3年は「病気の悩み・影響（うつ病）」が最も増加し、次いで「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」、「病気の悩み（身体の病気）」、「病気の悩み・影響（統合失調症）」だった。（表1）

表1 令和2年、令和3年における原因・動機（小分類）別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減数比較（単位：人）

	令和2年（2020年）			令和3年（2021年）			
	男	女	計	男	女	計	
家庭問題	親子関係の不和	1.4	3.4	4.8	3.4	-0.6	2.8
	夫婦関係の不和	3.4	2.2	5.6	1.4	5.2	6.6
	その他家族関係の不和	-2.2	0.6	-1.6	1.8	6.6	8.4
	家族の死亡	2.8	-5.6	-2.8	0.8	-1.6	-0.8
	家族の将来悲観	-5.6	1.6	-4.0	-5.6	1.6	-4.0
	家族からのしつけ・叱責	-2.0	3.4	1.4	-3.0	0.4	-2.6
	子育ての悩み	-1.0	6.8	5.8	1.0	1.8	2.8
	被虐待	-0.2	0.0	-0.2	-0.2	0.0	-0.2
	介護・看病疲れ	4.4	-1.0	3.4	3.4	2.0	5.4
	その他（家庭問題）	7.0	7.0	14.0	-2.0	0.0	-2.0
健康問題	病気の悩み（身体の病気）	15.6	22.8	38.4	-12.4	10.8	-1.6
	病気の悩み・影響（うつ病）	-1.4	41.0	39.6	7.6	48.0	55.6
	病気の悩み・影響（統合失調症）	5.6	4.8	10.4	-8.4	10.8	2.4
	病気の悩み・影響（アルコール依存症）	3.8	0.4	4.2	1.8	1.4	3.2
	病気の悩み・影響（薬物乱用）	0.0	2.8	2.8	-1.0	1.8	0.8
	病気の悩み・影響（その他の精神疾患）	9.8	24.8	34.6	17.8	16.8	34.6
	身体障害の悩み	3.8	1.8	5.6	-2.2	-0.2	-2.4
その他（健康問題）	0.0	-0.2	-0.2	-5.0	-5.2	-10.2	
経済・生活問題	倒産	-1.4	0.0	-1.4	0.6	0.0	0.6
	事業不振	-7.2	-0.6	-7.8	6.8	0.4	7.2
	失業	-5.4	2.0	-3.4	-2.4	0.0	-2.4
	就職失敗	-1.8	-0.2	-2.0	-1.8	1.8	0.0
	生活苦	-4.8	1.6	-3.2	14.2	0.6	14.8
	負債（多重債務）	11.4	-0.8	10.6	7.4	1.2	8.6
	負債（連帯保証債務）	0.6	-0.2	0.4	-0.4	-0.2	-0.6
	負債（その他）	-0.6	0.6	0.0	5.4	-0.4	5.0
	借金の取り立て苦	-1.6	0.0	-1.6	-0.6	1.0	0.4
	自殺による保険金支給	-1.4	0.4	-1.0	0.6	-0.6	0.0
その他（経済・生活問題）	2.4	3.8	6.2	-4.6	-3.2	-7.8	
勤務問題	仕事の失敗	-5.4	0.6	-4.8	-1.4	-0.4	-1.8
	職場の人間関係	-3.4	0.4	-3.0	-1.4	-2.6	-4.0
	職場環境の変化	1.8	3.4	5.2	0.8	3.4	4.2
	仕事疲れ	-11.0	-1.8	-12.8	-4.0	-3.8	-7.8
	その他（勤務問題）	3.6	4.0	7.6	-0.4	-1.0	-1.4
男女問題	結婚をめぐる悩み	-1.4	0.0	-1.4	-1.4	-1.0	-2.4
	失恋	-0.4	1.6	1.2	2.6	2.6	5.2
	不倫の悩み	-0.2	-1.0	-1.2	-2.2	-1.0	-3.2
	その他交際をめぐる悩み	-1.6	2.0	0.4	-0.6	0.0	-0.6
	その他（男女問題）	-1.4	-0.6	-2.0	2.6	0.4	3.0
学校問題	入試に関する悩み	1.6	1.0	2.6	1.6	1.0	2.6
	その他進路に関する悩み	-1.4	2.2	0.8	0.6	0.2	0.8
	学業不振	3.0	0.6	3.6	3.0	1.6	4.6
	教師との人間関係	-0.2	0.0	-0.2	-0.2	0.0	-0.2
	いじめ	-0.2	0.0	-0.2	-0.2	0.0	-0.2
	その他学友との不和	0.8	0.6	1.4	-1.2	-1.4	-2.6
	その他（学校問題）	-1.6	0.6	-1.0	-0.6	0.6	0.0
その他	犯罪発覚等	3.2	0.4	3.6	5.2	1.4	6.6
	犯罪被害	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	後追い	0.6	4.8	5.4	4.6	3.8	8.4
	孤独感	4.0	2.2	6.2	8.0	5.2	13.2
	近隣関係	0.0	0.6	0.6	-1.0	-0.4	-1.4
	その他（その他）	-1.4	-0.8	-2.2	-1.4	-0.8	-2.2
不詳	不詳			-30.0	-8.6	-38.6	
				-96.0	-28.6	-124.6	

(2) 増減率

ア 男女計

令和2年は「病気の悩み・影響（薬物乱用）」が最も上昇し、次いで「入試に関する悩み」、「子育ての悩み」だった。令和3年は「後追い」が最も上昇し、次いで「入試に関する悩み」、「その他（男女問題）」、「犯罪発覚等」だった。（表2）

イ 男性

令和2年は「負債（連帯保証債務）」が最も上昇し、次いで「介護・看病疲れ」、「その他（家庭問題）」だった。令和3年は「後追い」が最も上昇し、次いで「その他（男女問題）」、「犯罪発覚等」だった。（表2）

ウ 女性

令和2年は「病気の悩み・影響（薬物乱用）」が最も上昇し、次いで「職場環境の変化」、「その他（勤務問題）」だった。令和3年は「病気の悩み・影響（薬物乱用）」が最も上昇し、次いで「職場環境の変化」、「犯罪発覚等」だった。（表2）

表2 令和2年、令和3年における原因・動機（小分類）別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減率比較（単位：％）

	令和2年（2020年）			令和3年（2021年）			
	男	女	計	男	女	計	
家庭問題	親子関係の不和	21.2	51.5	36.4	51.5	-9.1	21.2
	夫婦関係の不和	15.0	28.2	18.4	6.2	66.7	21.7
	その他家族関係の不和	-23.9	8.1	-9.6	19.6	89.2	50.6
	家族の死亡	23.0	-44.4	-11.3	6.6	-12.7	-3.2
	家族の将来悲観	-24.8	11.9	-11.1	-24.8	11.9	-11.1
	家族からのしつけ・叱責	-33.3	212.5	18.4	-50.0	25.0	-34.2
	子育ての悩み	-100.0	309.1	181.3	100.0	81.8	87.5
	被虐待	-100.0	—	-100.0	-100.0	—	-100.0
	介護・看病疲れ	122.2	-33.3	51.5	94.4	66.7	81.8
その他（家庭問題）	116.7	350.0	175.0	-33.3	0.0	-25.0	
健康問題	病気の悩み（身体の病気）	15.9	48.3	26.4	-12.6	22.9	-1.1
	病気の悩み・影響（うつ病）	-1.5	50.6	22.6	8.1	59.3	31.7
	病気の悩み・影響（統合失調症）	21.2	20.7	21.0	-31.8	46.6	4.8
	病気の悩み・影響（アルコール依存症）	90.5	25.0	72.4	42.9	87.5	55.2
	病気の悩み・影響（薬物乱用）	0.0	1400.0	233.3	-100.0	900.0	66.7
	病気の悩み・影響（その他の精神疾患）	37.4	122.8	74.6	67.9	83.2	74.6
	身体障害の悩み	73.1	56.3	66.7	-42.3	-6.3	-28.6
	その他（健康問題）	0.0	-3.8	-1.6	-71.4	-100.0	-83.6
経済・生活問題	倒産	-100.0	—	-100.0	42.9	—	42.9
	事業不振	-50.7	-37.5	-49.4	47.9	25.0	45.6
	失業	-47.4	200.0	-27.4	-21.1	0.0	-19.4
	就職失敗	-20.5	-16.7	-20.0	-20.5	150.0	0.0
	生活苦	-8.8	17.0	-5.0	25.9	6.4	23.1
	負債（多重債務）	42.9	-28.6	36.1	27.8	42.9	29.3
	負債（連帯保証債務）	150.0	-100.0	66.7	-100.0	-100.0	-100.0
	負債（その他）	-3.2	25.0	0.0	29.0	-16.7	23.8
	借金の取り立て苦	-100.0	—	-100.0	-37.5	—	25.0
	自殺による保険金支給	-100.0	66.7	-50.0	42.9	-100.0	0.0
その他（経済・生活問題）	25.0	118.8	48.4	-47.9	-100.0	-60.9	
勤務問題	仕事の失敗	-32.9	42.9	-27.0	-8.5	-28.6	-10.1
	職場の人間関係	-22.1	8.7	-15.0	-9.1	-56.5	-20.0
	職場環境の変化	19.6	566.7	53.1	8.7	566.7	42.9
	仕事疲れ	-50.0	-47.4	-49.6	-18.2	-100.0	-30.2
	その他（勤務問題）	42.9	400.0	80.9	-4.8	-100.0	-14.9
男女問題	結婚をめぐる悩み	-100.0	0.0	-58.3	-100.0	-100.0	-100.0
	失恋	-4.8	66.7	11.1	31.0	108.3	48.1
	不倫の悩み	-9.1	-50.0	-28.6	-100.0	-50.0	-76.2
	その他交際をめぐる悩み	-24.2	66.7	4.2	-9.1	0.0	-6.3
	その他（男女問題）	-100.0	-100.0	-100.0	185.7	66.7	150.0
学校問題	入試に関する悩み	114.3	—	185.7	114.3	—	185.7
	その他進路に関する悩み	-31.8	78.6	11.1	13.6	7.1	11.1
	学業不振	75.0	42.9	66.7	75.0	114.3	85.2
	教師との人間関係	-100.0	—	-100.0	-100.0	—	-100.0
	いじめ	-100.0	—	-100.0	-100.0	—	-100.0
	その他学友との不和	66.7	42.9	53.8	-100.0	-100.0	-100.0
	その他（学校問題）	-100.0	42.9	-33.3	-37.5	42.9	0.0
その他	犯罪発覚等	84.2	66.7	81.8	136.8	233.3	150.0
	犯罪被害	—	—	—	—	—	—
	後追い	42.9	218.2	150.0	328.6	172.7	233.3
	孤独感	40.0	32.4	36.9	80.0	76.5	78.6
	近隣関係	0.0	150.0	42.9	-100.0	-100.0	-100.0
	その他（その他）	-10.4	-13.8	-11.5	-10.4	-13.8	-11.5
不詳	不詳						
		-15.1	-12.2	-14.3	-48.2	-40.5	-46.2

7 職種別自殺者数

(1) 増減数

ア 男女計

令和2年は「保安従事者」が最も増加し、次いで「事務職」、「学生・生徒等」だった。令和3年は「事務職」が最も増加し、次いで「販売従事者」、「通信運輸従事」だった。(表3)

イ 男性

令和2年は「保安従事者」が最も増加し、次いで「販売従事者」、「技能工」だった。令和3年は「通信運輸従事」が最も増加し、次いで「販売従事者」、「事務職」だった。(表3)

ウ 女性

令和2年は「無職者」が最も増加し、次いで「専門・技術職」、「学生・生徒等」だった。令和3年は「事務職」が最も増加し、次いで「学生・生徒等」、「販売従事者」だった。(表3)

表3 令和2年、令和3年における職種別に見た感染拡大前5年平均自殺者数との増減数比較 発見日・発見地 (単位：人)

		自営業・家族従事者	専門・技術職	管理的職業	事務職	販売従事者	サービス業務従事者	技能工	保安従事者	通信運輸従事	労務作業	その他	学生・生徒等	無職者
令和2年	計	-5.4	3.2	-1.0	8.2	6.4	3.4	5.0	10.6	2.0	-9.8	-14.4	7.0	-25.2
2020年	男	-8.2	-12.0	-3.4	1.4	2.8	0.2	1.8	11.4	1.4	-5.8	-7.2	-0.2	-52.0
	女	2.8	15.2	2.4	6.8	3.6	3.2	3.2	-0.8	0.6	-4.0	-7.2	7.2	26.8
令和3年	計	6.6	-1.8	-4.0	22.2	17.4	8.4	-2.0	0.6	12.0	-10.8	-56.4	11.0	-83.2
2021年	男	4.8	-1.0	-4.4	6.4	6.8	4.2	-2.2	0.4	12.4	-12.8	-41.2	-0.2	-89.0
	女	1.8	-0.8	0.4	15.8	10.6	4.2	0.2	0.2	-0.4	2.0	-15.2	11.2	5.8

(2) 増減率

ア 男女計

令和2年は「保安従事者」が最も上昇し、次いで「事務職」、「販売従事者」だった。令和3年は「事務職」が最も上昇し、次いで「通信運輸従事」、「販売従事者」だった。(表4)

イ 男性

令和2年は「保安従事者」が最も上昇し、次いで「販売従事者」、「通信運輸従事」だった。令和3年は「通信運輸従事」が最も上昇し、次いで「事務職」、「販売従事者」だった。(表4)

ウ 女性

令和2年は「技能工」が最も上昇し、次いで「専門・技術職」、「管理的職業」、「通信運輸従事」だった。令和3年は「販売従事者」が最も上昇し、次いで「事務職」、「学生・生徒等」だった。(表4)

表4 令和2年、令和3年における職種別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減率比較 発見日・発見地 (単位：%)

		自営業・家族従事者	専門・技術職	管理的職業	事務職	販売従事者	サービス業務従事者	技能工	保安従事者	通信運輸従事	労務作業者	その他	学生・生徒等	無職者
令和2年	計	-9.2	8.7	-6.7	36.0	32.7	13.3	12.5	143.2	15.4	-15.4	-23.5	16.7	-4.0
2020年	男	-15.4	-41.4	-25.4	9.6	17.3	1.1	4.6	172.7	11.1	-10.0	-15.6	-0.7	-13.7
	女	53.8	194.9	150.0	82.9	105.9	41.0	400.0	-100.0	150.0	-66.7	-47.4	52.2	11.0
令和3年	計	11.3	-4.9	-26.7	97.4	88.8	32.8	-5.0	8.1	92.3	-16.9	-91.9	26.2	-13.4
2021年	男	9.0	-3.4	-32.8	43.8	42.0	23.6	-5.6	6.1	98.4	-22.1	-89.2	-0.7	-23.5
	女	34.6	-10.3	25.0	192.7	311.8	53.8	25.0	25.0	-100.0	33.3	-100.0	81.2	2.4

8 同居人の有無別自殺者数

(1) 増減数

ア 男女計

令和2年は「50～59歳」の同居人ありが最も増加し、次いで「19歳以下」の同居人あり、「80～89歳」の同居人なしだった。令和3年は「70～79歳」の同居人なしが最も増加し、次いで「30～39歳」の同居人なし、「50～59歳」の同居人ありだった。(表5)

イ 男性

令和2年は「80～89歳」の同居人なしが最も増加し、次いで「50～59歳」の同居人なし、「19歳以下」の同居人ありだった。令和3年は「50～59歳」の同居人なしが最も多かった。(表5)

ウ 女性

令和2年は「50～59歳」の同居人ありが最も増加し、次いで「60～69歳」の同居人あり、「19歳以下」の同居人ありだった。令和3年は「70～79歳」の同居人ありが最も増加し、次いで、「50～59歳」の同居人あり、「70～79歳」の同居人なしだった。(表5)

表5 令和2年、令和3年における同居人の有無別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減数比較 発見日・発見地 (単位：人)

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	
令和2年 2020年	計	同居人あり	9.6	5.2	-3.6	-12.8	9.8	0.0	-19.6	2.6	1.6
		同居人なし	-2.2	-2.6	-2.6	-6.2	6.8	-7.6	2.8	9.0	1.2
	男	同居人あり	2.4	-1.4	-5.6	-17.8	-6.4	-8.0	-14.0	2.0	0.4
		同居人なし	-1.4	-6.0	-8.6	-4.4	4.4	-5.8	-3.2	4.8	0.4
令和3年 2021年	女	同居人あり	7.2	6.6	2.0	5.0	16.2	8.0	-5.6	0.6	1.2
		同居人なし	-0.8	3.4	6.0	-1.8	2.4	-1.8	6.0	4.2	0.8
	計	同居人あり	1.6	2.2	-17.6	-3.8	6.8	-26.0	-7.6	-0.4	-3.4
		同居人なし	-0.2	1.4	8.4	-31.2	5.8	-18.6	10.8	-8.0	1.2
	男	同居人あり	-7.6	2.6	-15.6	-4.8	-5.4	-27.0	-21.0	-1.0	1.4
		同居人なし	0.6	0.0	0.4	-25.4	7.4	-14.8	0.8	-6.2	1.4
	女	同居人あり	9.2	-0.4	-2.0	1.0	12.2	1.0	13.4	0.6	-4.8
		同居人なし	-0.8	1.4	8.0	-5.8	-1.6	-3.8	10.0	-1.8	-0.2

(2) 増減率

ア 男女計

令和2年は「80～89歳」の同居人なしが最も上昇し、次いで「19歳以下」の同居人あり、「90歳以上」の同居人なしだった。令和3年は「90歳以上」の同居人なしが最も上昇し、次いで「70～79歳」の同居人なし、「30～39歳」の同居人なしだった。(表6)

イ 男性

令和2年は「80～89歳」の同居人なしが最も上昇し、次いで「90歳以上」の同居人なし、「19歳以下」の同居人ありだった。令和3年は「90歳以上」の同居人なしが最も上昇し、次いで「90歳以上」の同居人あり、「19歳以下」の同居人なしだった。(表6)

ウ 女性

令和2年は「30～39歳」の同居人なしが最も上昇し、次いで「19歳以下」の同居人あり、「50～59歳」の同居人ありだった。令和3年は「30～39歳」の同居人なしが最も上昇し、次いで、「19歳以下」の同居人あり、「70～79歳」の同居人なしだった。(表6)

表6 令和2年、令和3年における同居人の有無別にみた感染拡大前5年平均自殺者数との増減率比較 発見日・発見地 (単位：%)

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	
令和2年 2020年	計	同居人あり	32.7	8.0	-4.1	-10.2	9.4	0.0	-18.9	5.2	14.0
		同居人なし	-68.8	-6.3	-6.0	-9.2	11.7	-12.5	6.1	34.6	31.6
	男	同居人あり	12.2	-3.2	-8.9	-22.3	-9.2	-12.7	-21.2	6.5	7.1
		同居人なし	-58.3	-18.2	-24.2	-7.8	8.9	-11.9	-11.0	31.6	25.0
令和3年 2021年	女	同居人あり	73.5	32.4	7.7	10.9	46.6	21.6	-14.9	3.1	20.7
		同居人なし	-100.0	39.5	75.0	-16.7	27.9	-15.3	35.3	38.9	36.4
	計	同居人あり	5.4	3.4	-19.9	-3.0	6.5	-26.0	-7.3	-0.8	-29.8
		同居人なし	-6.3	3.4	19.3	-46.4	10.0	-30.7	23.4	-30.8	31.6
	男	同居人あり	-38.8	5.9	-24.9	-6.0	-7.8	-42.9	-31.8	-3.2	25.0
		同居人なし	25.0	0.0	1.1	-45.0	14.9	-30.3	2.7	-40.8	87.5
	女	同居人あり	93.9	-2.0	-7.7	2.2	35.1	2.7	35.6	3.1	-82.8
		同居人なし	-100.0	16.3	100.0	-53.7	-18.6	-32.2	58.8	-16.7	-9.1